

日ラオス外交関係樹立65周年主要行事・認定行事

	イベント名	実施期間	場所	主催者	事業目的	事業概要
日本	結びの和プロジェクト	随時		一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会 (APSP)	日ラオス両国の伝統を守り、女性の就労支援、障害者支援を行い、「持続可能な社会」を目指す。	ラオスで活動しているNPO法人 Support for Woman's Happiness (SWH) の製品であるレンテンシリーズがAPSPのソーシャルプロダクツ・アワード2020のソーシャルプロダクツ賞を受賞。APSPとSWHが繋がり、APSPから歌舞伎で使われる「真田紐」をSWHに紹介、SWHの製品に真田紐を使ったコラボ製品を製作する。(後援者として、歌舞伎役者の中村橋吾氏、広島市の平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデル佐々木貞子さんの甥にあたる佐々木祐滋さん(NPO法人SADAKO LEGACY))
	御殿場支え愛プロジェクト	随時		御殿場支え愛プロジェクト	御殿場とラオスの障がい作業所が互いに支え合いながら自立を目指すプロジェクト。(年金や雇用枠がないラオスにおいて、障がいがあってもクオリティの高い製品をつくって最低賃金をもらえるような作業所を目指す、御殿場では、精神障がいを持っている方に、「やりがい」、「誇り」、「自尊心」を育て、「自分は誰かに貢献することができる」と自信を持ち心豊かな生き方を目指す。)	ラオスの障がい当事者が作業所ソノバオで作ったパーツを御殿場に届け、御殿場の障がい当事者がきれいに製品化して御殿場地域で御殿場土産として販売し、相互に雇用を支え合う。また、製品の販売で、継続的な交流を目指し、観光地として知名度の高い御殿場でラオス展などを開催する。
	『ら』おす『お』おさか『す』っきやねん!	2020年10月4日、7日及び11日	堺市国際交流プラザ大会議室	JICA関西	堺市とラオスの国際交流の推進を図る。ラオスの生活や文化、JICA海外協力隊の活動などを紹介する。	ラオスに派遣されていたJICA海外協力隊による企画として、JICA関西と堺市アセアン交流推進室との共催で、トークショー、パネル展示、レンテン族刺繍教室、ラオスコヒーの無料配布を実施する。 ※一時帰国中の関西在住のJICA海外協力隊による企画。
	ラオスにおけるグローバルチェーンに関する調査研究	2021年3月		ASEANセンター	ラオスにおける付加価値貿易の状況について調査研究し、政策提言をすることにより、ラオスのグローバルバリューチェーンへの参加を促すことを目的とする。	日本アセアンセンターが2017年度より取り組んでいる16本の「ASEANにおけるグローバルバリューチェーン」に関する調査研究およびその成果発表の一環として2020年度はラオスを取り上げる。セミナー・講演会をラオス政府と共同開催することにより、研究成果報告書に基づいた政策提言を行う。
	ラオス展	2020年11月3日～29日	京都市動物園	京都市動物園	京都市民及び動物園来園者に、京都市動物園で飼育されているアジアゾウのふるさとであるラオスについて、より多くのことを知ってもらうための取組。昨年、一昨年に続いて3回目の開催。	動物園職員がラオスを訪問した際に撮影した写真やビデオの展示、ラオスで購入したり、いただいたりした衣服や小物の展示。ラオスにおけるゾウの現状の報告を行う。 https://www5.city.kyoto.jp/zoo/event/20201016-42274.html
	「幸せを呼ぶ青い花」農園	2020年12月1日～随時	首都ビエンチャン近郊	特定非営利活動法人 Support for Woman's Happiness	日系企業と日系NPO法人の協力の下、ラオスの農業を使わない安全な土壌でバタフライピーを栽培・収穫する農園を開所し、障害者雇用を促進、農業分野での障害者の自立を目指す。	ラオスの障がい作業所ソノバオに所属する身体障害者が農業で自立できるように、ツジコー株式会社とNPO法人Support for Woman's Happinessが協力し、障害者雇用のための農園を開所する。農園ではバタフライピーを主に栽培し、乾燥花の状態ですジコー株式会社が日本に輸出。御殿場市で精神障害者がティーパーグに詰める作業を担当し「富士山ブルーティー」として販売する。この製品は日本ラオス双方の障害者雇用を支える製品としてアピールを行う。
	栗コーダーカルテットがやってくる live in 八王子	2021年3月	八王子・禅東院	ジャパン・ラオス・クリエイティブ・パートナーズ	日本におけるラオスの認知度向上及び日本とラオスの交流を深めるため。	ラオスと縁の深い「栗コーダーカルテット」のライブと、同バンドが音楽担当した日本ラオス合作映画『サーイナムライ(邦題:ラオス竜の奇跡)』の上映、地元八王子の定期市やラオス雑誌の物販など。
	財政安定化共同政策研究・対話プログラムによる政策提言	2020年1月		JICA	ラオス経済・財政の現状分析、課題の把握及び対応策につき日本の研究者とラオス政府が共同で研究を行い、ラオスの財政安定化につながる提言を行う。	2016年の日ラオス首脳会談におけるトンリン首相からの要請を受け、2018年からJICA技術協力プロジェクト「財政安定化共同政策研究・対話プログラム」を開始。2020年1月には、同研究の最終報告書を取りまとめ、7つの政策提言をトンリン首相(当時)に提出。 https://www.jica.go.jp/laos/office/infomation/event/20200122.html

65周年記念ロゴの発表	2020年2月18日	天皇誕生日レセプション(於:大使公邸)	在ラオス日本大使館	二国間友好の象徴である桜と象の「65」ロゴを周年事業イベントや広報で用いることで、二国間友好の機運を高める。	天皇誕生日レセプションにおいて、日ラオス外交関係樹立65周年記念ロゴを、竹若大使及びサルムサイ外務大臣から発表。 https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/s_ea1/la/page22_003250.html
ジャパンフェスティバル	2020年1月後半～2月中旬	ワールド・トレード・センター他	ジャパンフェスティバル実行委員会	当地最大の日本文化紹介事業を通じて、日本のプレゼンス向上に資すると共に、友好関係強化の機運をさらに高める。	当地の日本関連8団体(大使館、JICA、JETRO、基金AC、日本人商工会、日本人会、LJI、JAOL)共催により、ステージ・ブースイベント、映画祭、物産展等を開催する。 @japanfestivalinlaos
武道演武会	2020年2月8日、及び2021年1月23日	ラオス日本武道センター	在ラオス日本大使館	武道という日本の伝統的スポーツを紹介するとともに、東京オリパラ大会への関心を高める。	一般文化無償により建設されたラオス日本武道センターにおいて、ラオス人青少年による柔道、空手道、合気道及び剣道の演武を行う。 https://www.la.emb-japan.go.jp/files/100132714.pdf
日本映画祭	2020年2月8-9日/14-16日 及び12月11-13日/18-20日	Major Platinum Cineplex(ビエンチャンセンター内映画館)	国際交流基金アジアセンタービエンチャン連絡事務所	日本の最新の映画を上映することを通じて、日本の文化、社会、生活等を紹介し、対日理解を促進する。	過去1～2年に上映された最新作8-10本を日本語音声・英・ラオス語字幕で上映する。 @jacvt
象祭り	2020年2月22日	サイニャブリ県	サイニャブリ県		サイニャブリ県象祭りに、京都市動物園が参加し、日ラオス友好をアピール。また、バンカム国家副主席(当時)、竹若大使が参加。
日ラオス首脳メッセージの交換	2020年3月5日(外交関係樹立日)				外交関係樹立記念日を捉え、安倍総理(当時)及びトランプ首相(当時)からのメッセージをラオス有力紙(バサン紙及びビエンチャン・タイムズ紙)に掲載。
日ラオス外務省局長級協議	2020年3月5日(外交関係樹立日)	ラオス外務省			外交関係樹立記念日を捉え、二国間事務レベル会談を実施。
日ラオス安全保障対話	2020年3月4日	ラオス外務省			両国外務/防衛当局間で、二国間関係や安全保障分野での協力につき意見交換を実施し、今後も幅広い分野での協力を行うことで一致。
JICA支援による民法典施行	2020年5月27日		JICA	ラオスの更なる法の支配発展を促進するために、市民の権利・利益を保護するためのルールとなる民法典の施行をJICAプロジェクトで支援。	日本のラオス司法分野への協力は20年以上の長い歴史を持ち、同協力の一つとして、2012年からラオス民法典の施行を支援。2018年のラオス国民議会での承認を経て、2020年5月27日にラオス史上初めての民法典が施行された。 https://www.jica.go.jp/laos/office/infomation/event/20200527.html
65周年記念大使館フェイスブック連載「日本と私」「ラオスと私」	2020年5月～2021年3月(毎週交互に掲載)	大使館フェイスブック	在ラオス日本大使館	ラオス人と日本人それぞれが相手国への熱い思いを綴ることにより、友好関係の更なる醸成に寄与する。	日本と縁が深いラオス人執筆による「日本と私」、ラオスと縁が深い日本人執筆による「ラオスと私」のエッセイシリーズを毎週交互に大使館フェイスブックに掲載。 @embassyonjapaninlaos #日本と私 #ラオスと私
Digicon ASIA 第1回ラオスコンテスト	2020年6月11日～8月24日	情報文化観光省映画局ホール	国際交流基金アジアセンタービエンチャン連絡事務所	ラオスの映像分野の優れた人材を発掘し、映像作品を創作する契機や動機を提供することでラオスの映像教育や芸術活動を支援する。	2000年からTBSが主催している映像フェスティバル「Digicon ASIA」に、本年からラオスも参加せしめるもの。ラオスから優勝者1名を東京大会へ招待。 @jacvt
茂木外務大臣のラオス訪問	2020年8月22日～24日	ビエンチャン		日・ラオス外交関係樹立65周年及び戦略的パートナーシップ5周年の節目の年である本年、幅広い分野における両国間の戦略的パートナーシップの緊密化を図る。	トランプ首相(当時)表敬、サルムサイ外相との会談等 https://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/s_ea1/page4_005180.html
Study in Japan Fair	2020年9月28日～10月21日	LJI(ラオス日本センター)	LJI	日本留学に関心のある若年層への広報。	一般の参加者を対象に、日本への留学制度の紹介や、日本の大学とのオンライン意見交換会を実施する。
日ラオス関係紹介記事の掲載	2020年10月～2021年3月	ビエンチャンタイムズ紙、オンラインメディア3社	在ラオス日本大使館	ラオスの有力紙に二国間関係、特にコロナ対策支援等の記事を掲載。	65周年の機会に日ラオス関係を様々なテーマで照会する連載(月1回掲載) @embassyofjapaninlaos #JapanLaosJournal
“Alumni Sharing Day” and “Academic Workshop’s Day”	2020年10月24日	Lake Café	JENESYS2019 日ASEAN学生陣ラオス参加メンバー	JENESYS参加メンバー同士の連携強化、参加に関心を有する若年層への広報。	JENESYS2019 日ASEAN学生陣ラオス参加メンバーによる日本での体験発表会。

センドゥアン・ラオス日本友好協会会長兼教育スポーツ大臣(当時)への旭日重光章授賞、及びチャンタソン・ラオスのこども代表の旭日双光賞授賞	2020/11/3(発令日)		在ラオス日本大使館	外交関係樹立65周年及び戦略的パートナーシップ関係5周年の機会に、日ラオス友好関係の増進において特に顕著な功績のあった個人に対し功績を称え、教育及びスポーツ分野における良好関係の一層の促進を図るため。	https://www.la.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00292.html
日ラオス65周年記念動画	2021/11/25～		在ラオス日本大使館	日ラオス外交関係樹立65周年記念として、二国間友好の歴史や二国間協力をラオス国内で広報する。	日ラオス友好関係の歴史や二国間協力に焦点を当てたプロモーション動画を制作し、当館主催・共催事業や大使館FBで放映する。 https://www.facebook.com/302996599826018/videos/153341406244724
外交講演会	2020年11月26日	ICTC(国際協力研修センター)	外交研究所及び在ラオス日本大使館共催	外交関係樹立65周年及び戦略的パートナーシップ関係5周年の機会に、二国間関係の歴史を振り返り、更なる関係促進に向けたメッセージを発信する。	当国省庁関係者を対象とした竹若大使・米山JICA所長による日ラオス関係講演会。 https://m.facebook.com/embassyofjapaninlaos/posts/3357305371061777
ウデット商工会議所会頭、及びヴィラチット教育振興財団筆頭理事長へ外務大臣表彰	2020年12月1日(公表日)		在ラオス日本大使館	外交関係樹立65周年及び戦略的パートナーシップ関係5周年の機会に、日ラオス友好関係の増進において特に顕著な功績のあった個人に対し功績を称え、教育及び経済分野における良好関係の一層の促進を図るため。	
第14回官民合同対話	2020年12月9日	計画投資省	計画投資省及び在ラオス日本大使館共催	ラオスに進出した日系企業が抱えるビジネス環境に関する課題を直接ラオス政府に説明し、ラオスの更なる投資環境整備に向け、両国の官民関係者が共に議論し、具体的な解決策を検討する。	ソーンサイ副首相兼計画投資大臣及び竹若大使が共同議長を務め、貿易・物流業及びラオスへの新規参入の障壁に関して議論を行った。 https://www.la.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00320.html
チャンバサック県バクセーにおける官民合同対話立ち上げ	2020年12月14日	チャンバサック県		チャンバサック県バクセーに進出した日系企業が抱えるビジネス環境に関する課題について、直接チャンバサック県に説明し、両者が共に議論し、具体的な解決策を検討する。	竹若大使立会いの下、ラオス日本人商工会議所バクセー支部とピライボン・チャンバサック県知事との間で同県バクセーにおける官民合同対話の立ち上げについて合意した。